

2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人直方青年会議所	
事業名	AR 式室内運動事業	
事業担当者	林田裕生	
事業担当者連絡先	Tel:08064180374	Mail:hayashida.imt@gmail.com
実施に至った背景	<p>2023 年度は直方青年会議所と直方市役所では地域事業として、直方花火大会を行ってきました。今年度に関しては、違う事業で直方市役所と地域のために新しい事業を行いたいと考えます。そこで、直方市役所に協力をしてもらい、職員の福利厚生の一環と地域の小学生の子供たちに健康意識を高めてもらい、今の時代にあった機械やプログラミングを経験してもらう必要があると考えます。</p>	
事業の目的	<p>対外</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域教育の発展を目的とします ② 体を使い健康意識の向上を目的とします ③ 直方市役所と直方青年会議所の強い関係性を構築することを目的とします <p>対内</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域貢献を目的とします ② 地域の皆様に直方青年会議所を知っていただくことを目的とします 	
事業の概要	<p>AR 式室内運動事業は、直方青年会議所が直方市役所と協力して実施したプロジェクトです。この事業は DIDIM という AR 技術を活用したインタラクティブな運動機械を使用し、地域の学童施設を訪問して子供たちに全身を使った運動の機会を提供しました。DIDIM を使用することで、運動がゲーム感覚で楽しめるものとなり、子供たちの運動への興味を引き出し、運動習慣の形成を促進しました。</p> <p>プログラムは、各学童施設でメンバーが機材のセットアップを行い、子供たちに運動体験を提供する形式で進行しました。運動プログラムは多様な内容で構成されており、子供たちの年齢や運動能力に応じたものが用意されました。</p> <p>この取り組みは、地域の子供たちの身体的健康の向上と運動習慣の定着に大きく寄与しました。さらに、地域社会全体で子供たちの健康を支える共通の目標を持つことで、地域の結束力も強化されました。また、最新技術を取り入れた教育プログラムとして他地域へのモデルケースとなることが期待されます。直方青年会議所は、この事業を通じて地域社会に大きな貢献を果たし、持続可能な地域発展に向けた重要な一歩を踏み出しました。</p>	
広報戦略	事前に市役所の方々と相談	
実施による工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機材レンタル料を他団体と出資し合うことで低予算に抑えることができました。 	

	<p>・同時開催でマインクラフト教室を開催することで生徒の人数の集中を避け、少ない人数でも効率的に開催できました。</p>			
事業の参加者	会員数	5名	参加率	50%
	対外目標	150名	達成率	100%
事業対象者	直方近隣小学校(学童)			
開催期間日時	2024年2月5日(月)～2月9日(金) 5日間 15:00～17:00			
開催場所	<p>・新入小学校(5・7日)・直方東小学校(6日)・植木小学校(8日)</p> <p>・上頓野小学校(9日)</p>			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続			
結果	<p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <p>【対外】</p> <p>①子どもの地域教育の発展をすることができました</p> <p>②体を使い健康意識の向上をすることができました</p> <p>③直方市役所(商工観光課)に非常に喜んでもらえ、直方青年会議所の強い関係性を構築することができました</p> <p>【対内】</p> <p>①新入小学校・直方東小学校・植木小学校・上頓野小学校の子どもたちに地域貢献ができました</p> <p>②(株)明日葉・特定非営利法人プラタナスの皆様から直方青年会議所を知っていただくことができました</p> <p>2. 上記の結果の確認方法</p> <p>参加された関係者の声</p> <p>3. 検証結果</p> <p>下記参照</p>			
LOM や地域社会への影響	<p>AR式室内運動事業は、直方青年会議所と直方市役所が協力して実施した地域密着型プロジェクトで、地域社会に影響を与えました。先進的なDIDIMという機械を使用し、学童施設を巡って子供たちに全身運動の機会を提供しました。</p> <p>AR技術を活用したインタラクティブな運動体験は、子供たちの身体的健康を促進し、運動への興味を引き起こし、楽しさを通じて健康習慣の形成を助けました。この取り組みは、地域全体で子供たちの健康を支える共通の目標を生み出し、地域の結束力を強化しました。市民からの支持を得たことで、今後の継続的な実施も期待されています。</p> <p>さらに、直方青年会議所と直方市役所との関係性が強化され、青年会議所が地域</p>			

	<p>にとって重要な存在であることが再確認されました。学童施設での開催で参加人数やスペースの面で有力な内容を詰めることができました。</p> <p>子供たちも楽しんで参加し、直方市の公式 Instagram や Facebook で公開されることで、青年会議所の取り組みが広く知られるようになりました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p>	<p>AR 式室内運動事業の長期的な影響は多岐にわたり、地域社会に大きな変革をもたらすと期待されます。まず、子供たちの健康促進です。運動の楽しさを知った子供たちは将来も運動を続け、健康的なライフスタイルが確立されるでしょう。AR 技術を用いた運動体験は、運動嫌いを減らす効果もあります。</p> <p>次に、地域の教育環境の改善です。DIDIM を活用したこのプロジェクトは、新しい教育手法として注目され、他の地域や教育機関でも導入が進む可能性があります。</p> <p>さらに、地域の結束力の強化です。直方市役所と青年会議所が協力して実施したこの事業は、地域の連携の重要性を示し、他の地域課題にも協力して取り組む基盤を築きました。</p> <p>最後に、直方青年会議所の影響力と信頼性の向上です。この成功事例は、地域社会からの信頼と期待を高め、持続的な地域貢献活動を可能にしました。今回は試験的な事業でしたが、今後は市役所や関連施設に設置することで、地域の健康増進に寄与することが期待されます。</p>
<p>考察や推奨</p>	<p>考察</p> <p>DIDIM を使った運動プログラムは、従来の運動とは異なり、ゲーム感覚で楽しむことができるため、子供たちの興味を引きやすく、運動習慣の形成に大きく寄与しました。また、直方市役所との連携による実施は、地域全体の支援体制を強化し、プロジェクトの成功に大きく貢献しました。</p> <p>しかし、課題もいくつか見受けられました。まず、AR 技術の導入には初期投資が必要であり、すべての学童施設が容易に取り入れることができるわけではありません。</p> <p>推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業や団体との連携を深め、地方自治体や教育機関と協力し、政府の助成金や補助金を活用する。 ・DIDIM を使った運動プログラムの効果を広く周知するために、地域のイベントやメディアを活用する。 ・地域の他の団体や学校と連携し、AR 技術を用いた運動プログラムを広げる。

事業風景(写真)



